



生誕 150 年記念展

泉鏡花と、

4月22日(土) >>> 9月10日(日)
令和5年

主な展示資料

泉鏡花自筆原稿「国貞ゑかく」

泉鏡花自筆短冊
「木槿垣萩の花垣むかひあひ」

小村雪岱画・泉鏡花賛幅
「あさ霧の下谷はれゆく人馬かな」

子規 紅葉 鏡花似顔絵並寄書

特別展示資料

鏡花三大戯曲の漫画化でも知られる波津彬子氏に、本展のためにイラスト二点を描き下ろしていただきました。当館で自筆短冊を所蔵している鏡花の俳句「木屋の香に染む雨の鴉かな」「わか恋は人との沼の花あやめ」をモチーフとしたイラストを、当該の短冊とともに展示します。

会期中イベント

4月23日(日) 14:00～15:00
朗読会「カイツブリの観察」(抄)(中西悟堂作)
【朗読】井口時次郎氏(LLP 技屋)
【会場】多目的利用室3
定員23名/3月23日朝9時より受付/参加無料

5月6日(土) 11:00～12:00
井上靖顕彰朗読会「万葉名歌十首」ほか
【朗読】西川章久氏(元北陸放送アナウンサー)
【会場】常設展示室「四高が育んだ多彩な才能」
定員23名/4月6日朝9時より受付
要入館料/オリジナルのお煎餅を配布

江戸の情緒を残す芸妓の粋と恋を、あるいは妖しくも美しい異界の住人たちを描き、独自の小説世界を築いた幻想とロマンの作家、泉鏡花。金沢市下新町に生まれ育った鏡花を、地元石川県では、徳田秋聲・室生犀星とともに「金沢の三文豪」と呼んで親しんでいます。当年で鏡花が生誕150年の節目を迎えることを記念し、当館で収集してきた泉鏡花資料を惜しみなく展示します。

また今回は、他の作家や画家など、文化人たちと鏡花の関係性に焦点をあて、さまざまな人々と鏡花との交流のエピソードをご紹介します。鏡花から誰かに対する、または誰かから鏡花に対する思いに触れていただければ幸いです。

event 関連イベント

- いずれも参加費無料
- 要電話申し込み(先着順、定員に達し次第終了)
- 開催日1ヵ月前の朝9時より受付開始

5月28日(日) 13:30～16:30

鏡花ウォーキング2023

泉鏡花ゆかりの場所を、学芸員と一緒に歩いて巡ります。

石川近代文学館一百間堀一東山界限一馬場小学校一久保市乙剣宮(解散)

【定員】15名

【注意】歩きやすい靴と服装でご参加ください。坂道や階段を含む長距離を歩くため、足に自信のない方の参加はご遠慮ください。

6月24日(土) 14:00～15:00

朗読会「傘」(泉鏡花作)

【朗読】宗村春菜氏(yagiza)

【会場】多目的利用室3 【定員】23名

7月9日(日) 14:00～15:00

朗読会「国貞ゑかく」(抄)(泉鏡花作)

【朗読】西本浩明氏(演芸列車「東西本線」)

【会場】多目的利用室3 【定員】23名

8月19日(土) 14:00～15:00

朗読会+ 漫画「夜叉ヶ池」(波津彬子作画/泉鏡花原作)

波津彬子氏の漫画「夜叉ヶ池」(『鏡花夢幻』所収)をスクリーン投影しながら朗読します。

【朗読】林恒宏氏(研声舎)・あざみゆみこ氏(ナレーター)

【会場】多目的利用室3 【定員】23名

9月9日(土) 14:00～15:00

朗読会「二人の作家」(里見弴作)

「文壇昔ばなし」(抄)(谷崎潤一郎作)

【朗読】高田伸一氏(劇団110SHOW)

【会場】多目的利用室3 【定員】23名



次回企画展予告 ▶ 企画展「大和し思ほゆー文学に探す雅のすがた」(仮題) 会期 令和5年10月14日(土)～12月17日(日)(予定)

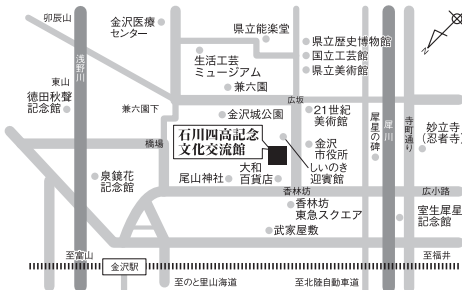
お問い合わせ

公益財団法人

石川近代文学館

〒920-0962 石川県金沢市広坂2丁目2番5号
石川四高記念文化交流館内 Tel.076-262-5464

URL <https://www.pref.ishikawa.jp/shiko-kinbun/>



《交通のご案内》

- ・ JR 金沢駅から北陸鉄道バスに乗り、香林坊下車 徒歩2分
- ・ JR 金沢駅から車で10分(近隣有料駐車場)

※感染症対策ガイドラインの改定等により、イベント定員や入館条件を変更する可能性があります。最新の情報はホームページでご確認ください。